

千葉県中小企業組合士会

前会長・理事 小池 孝



【組合士会の沿革】

組合士制度は中小企業組合に従事する役職員の資質向上を図るために、その職務遂行に必要な知識に関する試験を行い、合格者の中から3年以上の実務経験を有するものに対して「中小企業組合士」の称号を与える制度で、昭和44年に東京都中央会の尽力により発足。

その後、中小企業運動の一環として全国的に展開しようという機運が高まり、昭和49年からは全国中央会の所管するところとなり、昭和53年には中小企業庁よりその積極的推進についての通達が出され、現在、全国で3550名が登録されている。千葉県中小企業組合士会は昭和56年に39名の会員をもって設立された。

以来、組合事業の要となる事務局体制の整備充実と組合専従役職員の資質向上のために多くの事業を行なってその成果を上げてきた。現在の会員数は77名。組合はもちろん中央会、商工中金等それぞれの分野で中核的な役割を果たす活動をしている。

【組合の概要と小池氏の横顔】

小池孝氏は千葉総合卸商業団地（協）の理事・事務局長である。

卸団地組合は昭和42年に千葉市内の44名の卸売り業者が集団化を図る目的で設立され、昭和46年に卸団地



左より小池局長、坂本さん、斉藤さん

■千葉県中小企業組合士会

所在地	千葉市中央区千葉港4-2 千葉県中小企業団体中央会内
代表者	上坂 操
会員数	77名

■千葉総合卸商業団地（協）

所在地	千葉市中央区問屋町1-55
代表者	市川 直樹
会員数	29名（出資金4904万円）

会館、展示場、共同宿舍、共同倉庫を有する敷地面積7万7951㎡の卸団地が完成し、以来順調に発展してきた。

その後、流通構造の激変やバブル経済の崩壊により、再開発事業が頓挫、金融事業に不良債権が発生するなど、組合を取り巻く環境は一変した。しかし、これらの懸案も一応片付き、新たな再出発を期しているところである。

小池さんは昭和17年7月、千葉市生まれ。学校を卒業すると東京でサラリーマン生活を7年過ごした後、昭和44年に組合に入った。当時は事務所が会議所の一角を借りていたそう。

小池さんは、千葉県中小企業組合士会が昭和56年に発足したときに発

起人として参画。以来監事、理事、副会長、会長を歴任、現在も理事として会の取りまとめと、後進の指導にと活躍されており、この功績が認められて平成12年には中小企業庁長官賞を受賞した。

小池さんが日々心がけていることをお伺いしたところ「自分がされて困ることは人にはしない」。趣味はスキー、ゴルフなどスポーツ万能。そのための体力づくりとして、フィットネスクラブに通っているそう。将来の夢はカナダの雄大なゲレンデで滑降すること。

ご家族は、奥様と二人のお嬢さんと山武市に在住。



▲組合士会の研修旅行、長野県（平成11年11月）



◀組合員が出資して建設したシーオービル、ここに事務所がある